



【平成31年府中市議会第1回定例会】報告

2月25日(月)～3月22日(金)の26日間の会期で平成31年第1回府中市議会定例会(3月議会)が開催されました。本定例会では平成31年度の一般会計予算等が審議されました。

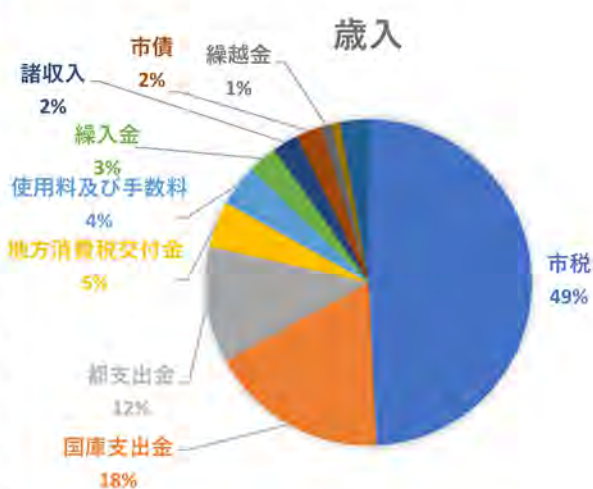
また、一般質問は20人30件が発言されました。

平成31年度一般会計予算特別委員会

平成31年度府中市一般会計予算を絶対多数で可決
予算額は、1,009億7,000万円(前年度比5.6%増)

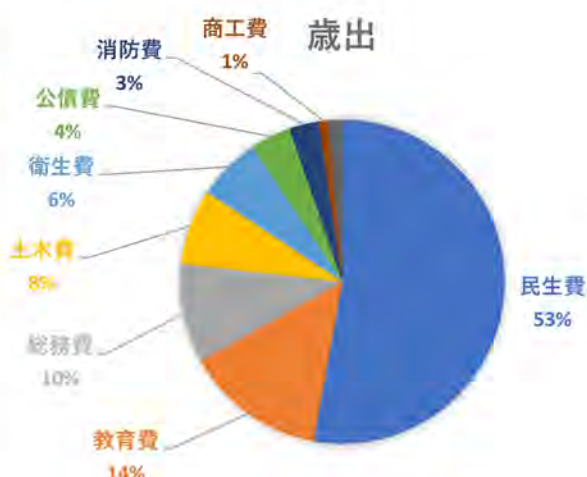
単位円

歳入	100,970,000,000
市税	49,721,135,000
国庫支出金	17,907,027,000
都支出金	11,692,903,000
地方消費税交付金	4,616,184,000
使用料及び手数料	4,132,949,000
繰入金	2,961,618,000
諸収入	2,589,062,000
市債	2,548,200,000
繰越金	1,100,000,000
分担金及び負担金	824,436,000
その他	2,876,486,000



単位円

歳出	100,970,000,000
民生費	53,389,502,000
教育費	14,101,044,000
総務費	10,038,451,000
土木費	7,612,634,000
衛生費	6,381,338,000
公債費	4,075,652,000
消防費	2,982,464,000
商工費	948,340,000
その他	1,440,575,000



平成31年度予算編成における特徴

平成31年度は、市税において納税義務者の増や個人所得の増傾向などから、前年度と比較して約8.6億円の増収を見込んでいます。

また、競走事業からの収益事業収入は純利益の減などにより3億円の減収を見込んでいます。こうした中、平成31年度は、誰もが安全・安心に笑顔で過ごし、市民が互いに支え合い、見守り合う「地域でつながる」、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機と捉え、府中の魅力や輝きを世界に発信すると

ともに他国の文化に触れる「世界とつながる」、次代を担う子どもたちの学習環境を整備するとともに、府中の未来に向けてのまちづくりを進める「未来につなげる」をテーマに、これまでの市政運営の成果を踏まえながら、次の時代を見据えて着実に市政を発展させるとともに「みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち」の実現に向け、市民との協働の下、様々な施策を積極的に展開していきます。

所属委員会報告

厚生委員会

【付議事件】議案6件

- 平成30年度府中市国民健康保険特別会計補正予算
- 平成30年度府中市後期高齢者医療特別会計補正予算
- 平成30年度府中市介護保険特別会計補正予算
- 平成31年度府中市国民健康保険特別会計予算
- 平成31年度府中市後期高齢者医療特別会計予算
- 平成31年度府中市介護保険特別会計予算

を審議し、全て可決された。



基地等跡地対策特別委員会

基地等跡地対策について

1. 調布基地跡地の状況
 - (1) 調布飛行場に係る動き
 - (2) 都市整備用地に係る動き
2. 府中基地跡地留保地の状況
 - (1) 府中基地跡地留保地利用計画検討協議会に係る動き
 - (2) その他
3. 法務省関連施設に係る動き
 - (1) 法務省矯正研修所及びアジア極東犯罪防止研修所に係る動き
 - (2) 関東医療少年院に係る動き

小金井街道における歩行者空間の課題への対応状況

等が報告され、審議し了承した。

地域活動等

是政から矢崎町の「ふるさと通り」の樹木が生い茂り、信号を遮っていて危険との市民相談があり、担当部署に要請し剪定の対応をした。▼



幸町の都営アパート西側の歩道の樹木が生い茂り、住宅の日差しを遮っているとの市民相談があり、担当部署に要請し、剪定時季での対応をした。▼



ラグビーワールドカップ2019に向けて、 府中市の今後の具体的取り組みについて

- Q** (1)効果的な気運醸成の実施状況について
(2)情報発信の取り組みの実施状況について
(3)チームキャンプ受入れ準備の検討状況について
(4)大会の盛り上げやおもてなしに向けた府中市の考えについて
(5)大会前及び大会期間中における各種イベントの具体案と進捗状況について



A

【市長答弁】

(4)東芝・サントリーという2つのトップリーグ所属チームをはじめ市内関係団体で構成する「ラグビーのまち府中推進委員会」を中心に、本大会の気運醸成を図るため、公認チームキャンプ地であるイングランドとフランスの文化等をテーマにしたラグビーフェスティバルや日本代表のパブリックビューイングとナイトカフェを融合させたイベント等を実施してきた。今後は、大会期間中に向け、ラグビーのまち府中推進委員会のほか、まちづくり府中や市内文化芸術団体、市民ボランティアなど、多様な市民との協働のもと、けやき並木通りを中心としたイベント等を通じて、国内外から訪れる観光客や選手・関係者等を市全体でおもてなしすることで、本市の魅力を感じていただき、大会後もまた本市を訪れたいと思っただけのよう、幅広く事業を展開していく。

【部長答弁】

(1)日本代表戦におけるパブリックビューイングと同時開催で実施するナイトカフェの開催や東芝とサントリーが対戦する府中ダービーマッチの市民無料招待・観戦バスツアー、選手やラグビーワールドカップ2019組織委員会関係者をお招きしたフォーラムの開催、府中朝日フットボールパークでキャンプを行う日本代表の市民公開練習や選手と市内園児・児童との交流など、多岐に渡る事業を実施する中で、「ラグビーのまち府中」のPRと併せ、ラグビーワールドカップ2019の気運醸成を行っている。

(2)東芝・サントリーの選手や市内飲食店等にご協力をいただき「ラグビーのまち府中ガイドブック“RUG-CHU”(ラグチュー)」を市内外のイベントや公共施設等で配布しているほか、広報ふちゅうで毎月1回連載している「世界×(かける)府中」にて、東京2020大会と併せて本市の取組を情報発信している。インターネット上で「ラグビーのまち府中」タウンサイトを運営し、最新のイベント情報を常時掲載している。ツイッター、フェイスブック、インスタグラムといったSNSでは、本市のラグビーに関する情報発信ツールとして最大限の活用を進めるほか、海外観光客の誘客に向けても、本市のイベントや観光スポットの情報を英語により情報発信をしている。

(3)イングランドとフランスの公認チームキャンプ地となることが決定し、組織委員会と契約締結を行った。

現在は、この契約に基づき、組織委員会と連携しながらチーム受け入れに向けた運営計画の作成を進めている。具体的には、組織委員会及び本市の運営体制・役割分担や、グラウンドを始めとする施設の整備、必要備品、警備・選手の輸送・メディア対応等、多岐に渡る詳細の確認を行っている。

また、イングランド及びフランスと本市との交流イベントの計画についても協議を行っており、本市としては、できるだけ多くの市民、とくに子どもたちとの交流の機会を設けていただくよう、組織委員会及び両チームへ要望している。

(5)イングランドとフランスが本市でキャンプを行う期間を軸とした、けやき並木通りを中心としたイベントを検討している。パブリックビューイングや市内飲食店等による飲食ブース及び本市や日本の伝統芸能を鑑賞・体験できるブースを展開するほか、現在、まちづくり府中にて取組を進めている「武蔵府中ワンハンドフード」をはじめ、本市にゆかりのある飲食の販売などの実施を、市、ラグビーのまち府中推進委員会のほか、まちづくり府中、市内文化芸術団体、市民ボランティアなどと連携し、全市をあげて取り組んでいく。さらに、10月20日に実施する市制施行65周年記念市民パレードは、同じ日に東京スタジアムで準々決勝戦が予定されていることから、本市の魅力を発信する絶好の機会であると捉えており、おもてなしの心をもって観光及び文化の発信に努めていく。

また、現在、開設に向けて調整を進めている「府中駅北口改札前情報発信施設」についても、府中市の窓口として国内外来訪者の案内ブースとしての機能を持たせられるよう検討を行っている。





【再質問】

- (1)市内のスポーツ施設が老朽化や規格外のため、フットサルやバスケットボールのチームが府中で試合ができない現状をどう捉えているか？
- (2)世界の二大会が目前に迫る中で、この2年間限定でも専任チーム組織を設置する考えは？
- (3)ラグビーワールドカップ開催期間中に、外国人観光客等の誘客についての考えはあるか？
- (4)ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック後のレガシー創出の考え方は？



【部長答弁】

(1)練習拠点として市内での活動やボールふれあいフェスタへの参画のほか、市民を対象とした試合観戦機会の提供など、本市と連携・協働した取組を行っていただき、チームを応援する動機やチームへの愛着の醸成は、引き続き図られているものと考えている。「見るスポーツ」として、プロスポーツチームの試合を市内で直接見る機会は大変貴重であると認識しているが、ハード面における対応にあたっては課題が多いものと考えている。

(2)組織体制については、いわゆる事業本部制や推進室といった専任チームの設置ではなく、既存の組織機構を原則として、平成28年度から、政策総務部政策課にオリンピック・パラリンピック等推進担当を設置するとともに、今年度からオリンピック・パラリンピック等関連事業推進担当を配置するなど、庁内の連携・協力体制の充実を図った。さらに、いよいよ大会本番を迎える平成31年度からは、政策総務部に部長級の「オリンピック・パラリンピック等関連事業推進担当」を置き、関連する様々な取組をより一層推進できる体制を構築し、大会の成功とレガシーの創出に努めていく。

(3)東京スタジアムの試合開催日なども含めた5日間に市民パレードのほか、本市の文化や伝統、魅力を知っていたくイベントの実施及びワールドカップのチケットホルダーを対象にしたオリジナル記念切符の配布や試合会場とを結ぶ、バスによる送迎を計画している。これらの実施に向けては、情報発信が重要となるので、本年9月には、外国人観光客が多く利用する新宿駅及び渋谷駅の駅前大型ビジョンを利用した本市の広告映像の放映や都内の宿泊施設に多言語化した本市の観光ガイドブックを配架するほか、市民パレード開催前には、京王線新宿駅に市民パレードの開催やオリジナル記念切符の配布などの大規模な広告宣伝を行うことを計画している。

(4)平成28年11月に「府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業推進アクションプラン Road to 2019-2020 ～レガシーの創出に向けて～」を策定、5本の柱に基づく全61の事業において両大会後のレガシーを設定し、全庁をあげて各事業を展開している。今後も両大会組織委員会、国、東京都、及び、「東京2020オリンピック・パラリンピック等に向けた府中市実行委員会」を始めとする市内関係団体等との連携を図りながら、全市一体となってレガシーの創出に向けた取組を推進していく。

意見・要望

●トップチームが府中にいつのまにか何もなくなっていたということにならないように、最低限の規格に沿った総合グラウンドや総合体育館の検討をより深く実施することを強く要望する。

●両大会が終わってから、あらためて、それぞれのレガシーが創出され、市民全体が2つの世界大会をやったよかった。これを契機にあらたな繋がりや街づくりができた。と思えるような取り組みを計画し、推進していただくよう要望する。



府中市議会議員 清水 勝 プロフィール

1964年 山梨県北巨摩郡(現北杜市)生まれ
 1983年 山梨県立甲府工業高校卒業/㈱東芝府中工場入社
 コンピュータ製造・試験・工程管理
 1994年～2015年
 ◆東芝グループ連合・東芝労働組合役員/◆連合東京・連合三多摩・
 電機東京役員/◆府中市各種審議会委員 等を歴任
 2015年4月 府中市議会議員初当選
 ◆東芝グループ連合・東芝労働組合顧問
 ◆市議会(主な役職)
 2015年度 建設環境委員会副委員長/市庁舎建設特別委員会委員
 2016年度 文教委員会委員/市庁舎建設特別委員会副委員長
 2017年度 総務委員会副委員長/再開発対策特別委員会委員
 2018年度 厚生委員会委員/基地等跡地対策特別委員会委員長 等



■ホームページ



■Facebook

■ホームページ
<http://shimizu-masaru-fuchu.jp>

■Facebook
<https://www.facebook.com/shimizu.masaru.fuchu>

お気軽に
ご相談下さい

【連絡先】〒183-8511 府中市東芝町1番地 東芝労働組合府中支部内
TEL.042-333-6890 FAX.042-319-1481 E-mail:shimizu.masaru.fuchu@gmail.com